

# 記入例 (通学形態変更届)

【給付様式35】

## 通学形態変更届(自宅外通学)

給付(新制度)

奨学生・予約採用候補者→学校  
→自宅外センター

独立行政法人  
日本学生支援機構理事長 殿

**③奨学生番号**  
奨学生番号が発行されている場合は必ず記入してください。  
奨学生番号を記入する場合は④、⑤の記入は不要です。

**⑥自宅外への入居日**  
・転居と同時に自宅外通学の要件を満たす場合は転居日を記入してください。  
・転居を伴わずに自宅外通学の要件を満たした場合は自宅外通学の要件を満たした日を記入してください。(例：同居していた生計維持者が転居した場合は、一人暮らしになった日。)

**⑦契約期間**  
・賃貸借契約書に記載された契約期間を記入してください。  
・契約期限が切れている場合は更新後の契約期間を記入し、契約期間を更新したことのわかる書類も併せてご提出ください。

**⑧家賃・寮費発生年月日**  
・契約の開始日から家賃が発生している場合は契約の開始日を記入してください。  
・契約に特約があり、契約開始日より後に家賃が発生している場合は実際に家賃が発生し始めた年月日を記入してください。

**⑨自宅外住所**  
・賃貸借契約書や入寮証明書に記載された住所を記入してください。

黒い太枠内は正確にもれなく記入し、学校に提出してください。未記入の場合は不備返送となります。

①提出日	西暦2024年4月21日
生年月日	西暦2005年10月1日
学籍番号	202411
フリガナ	イクエイ エウ
②氏名(自署)	育英 友

日本学生支援機構 短期大学 奨学金 課程 給付 学科(科) 1 年次 研究科

③奨学生番号: 5 2 0 0 4 0 0 1 1 1 1 又は

④採用候補者決定通知登録番号: - -

⑤進学届入力日: 月 日

**①提出日**  
・奨学生が学校へ提出した日を記入してください。

**②氏名**  
・氏名は必ず奨学生ご自身で記入してください。

**④採用候補者決定通知登録番号**

**⑤進学届入力日**  
・進学する前に進学予定の学校を通じて提出する場合は④を記入してください。  
・進学した後、進学届を入力後に提出する場合は④、⑤ともに記入してください。

**⑩生計維持者(現住所)**  
・奨学生番号がない場合は、進学届で届け出た(又は届け出る予定の)生計維持者を記入してください。  
・奨学生番号がある場合は、以下の①～③のいずれかのうち最も直前に届け出た生計維持者を記入してください。  
①進学届(2024年度の予約採用者が該当)  
②スカラネット(2024年度の在学採用者が該当)  
③在籍報告(2023年度以前の採用者が該当)  
・機構に届出済の生計維持者が記入されていない場合は不備になります。  
・生計維持者の住所は自宅外通学申請時点の住所を記入してください。機構に届出済の住所と相違していても構いません。

**⑪キャンパス住所**  
・主に通学しているキャンパス住所を記入してください。  
・通学しているキャンパスが複数ある場合は週の半分以上通学しているキャンパスを記入してください。

**⑫自宅外要件**  
・①～④のいずれかに当てはまるものに✓を記入してください。  
・①～④に当てはまらない場合は学業に関連したやむを得ない事由があれば⑤詳細欄に記入してください。  
学業に関連した事由でない場合は自宅外通学は認められません。  
・独立生計維持者は⑤詳細欄に独立生計維持者である旨を記入してください。  
・社会的養護の必要な者として採用された者は⑤詳細欄に社会的養護の必要なものである旨を記入してください。

■ 通学形態変更 自宅通学 → 自宅外通学

自宅外通学要件及び提出書類の確認	「自宅外通学要件確認チャート」を確認し、以下の「対象区分」に該当することを確認 (該当する「対象区分」に☑を記入し、証明書類を添付) □ A □ B □ C □ D <input checked="" type="checkbox"/> E □ F □ G	
⑥自宅外への入居日	西暦2024年3月25日	入居 ➡入居月(または採用決定月)から届出日(注1)まで3カ月以内に入居日の属する月が変更始期(注2) ➡入居月(または採用決定月)から届出日(注1)まで3カ月経過一届出日の属する月が変更始期(注2)
⑦契約期間	西暦2024年3月25日～西暦2026年3月24日	
⑧家賃・寮費発生年月日(注3)	西暦2024年3月25日	いずれかに該当する場合☑を記入 <input type="checkbox"/> フリーレントにより、左に記載の年月日から家賃・寮費発生 <input type="checkbox"/> 住所変更はないが左に記載の年月日から自宅外要件に該当
⑨自宅外住所	〒153-8503 東京都目黒区駒場4-5-29 駒場マンション 3階 301号	
⑩生計維持者①(現住所)	生計維持者(続柄: 父) 氏名: 育英 太郎	〒543-0001 大阪府大阪市天王寺区上本町8-3-13
⑩生計維持者②(現住所)	生計維持者(続柄: 母) 氏名: 育英 花子	〒543-0001 大阪府大阪市天王寺区上本町8-3-13
⑪キャンパス住所	〒162-8412 東京都新宿区市谷本村町 10-7 JASSO 市ヶ谷	
⑫自宅外要件	下記①～④に当てはまるかどうか☑を記入してください。 ①～④に当てはまらず特別な理由がある場合は、⑤その他の詳細欄に記入をしてください。	当てはまる
⑤その他やむを得ない特別な事情を選択する場合	①実家から大学等までの通学距離が片道60キロメートル以上(目安)	<input checked="" type="checkbox"/>
1. ①～④に当てはまらない場合は学業との関連で自宅からの通学が困難な事由を詳細欄に記入してください。	②実家から大学等までの通学時間が片道120分以上(目安)	
2. 入寮義務がある場合は、⑤の詳細に「入寮義務有」と記入してください。	③実家から大学等までの通学費が月1万円以上(目安)	<input type="checkbox"/>
	④実家から大学等までの通学時間が片道90分以上であり、通学時間帯に利用できる交通機関の運行本数が1時間当たり1本以下(目安)	<input type="checkbox"/>
	⑤その他やむを得ない特別な事情 詳細:	

(注1)自宅外通学事務処理センターに自宅外通学に係る証明書類が到着した日となります。  
(注2)自宅外通学の変更始期として認められるのは自宅外要件を満たし、かつ給付奨学金の支給始期年月以降となります。支給始期年月より前に遡ることはありません。  
(注3)家賃・寮費発生年月日は支払日・日産振替日ではありません。(例:2024年4月1日から2025年3月31日までの契約期間で、家賃が4月1日から発生している場合は2024年4月1日)  
・通学形態変更に基づき、給付月額および第一種奨学金貸与月額を変更します。  
・第一種奨学金の貸与月額については、法令等の規程に基づき増額又は減額(複数あるときは機構の定める額)にします。  
・選択可能な月額に変更したい場合は、第一種奨学金貸与月額変更願(届)(貸与様式2-1又は貸与様式2-2)で願(届)出してください。  
・通学形態変更による第一種奨学金貸与月額の増額に伴い、第一種奨学金の「変更後の借入金額(予定・総額)」が返還誓約書に印字の借入金額を上回る場合は、後日、「貸与奨学金増額同意書」の提出が必要となります。(学校を通じてお渡します。)

・自宅外通学に係る証明書類の添付が必要です。  
別紙「自宅外通学要件確認チャート」のいずれかの「対象区分」に該当することを確認し、該当する「提出書類」を本居にホチキス留めして提出してください。※提出された書類は返却しません。

学校確認欄(☑を記入)	以下「対象区分」に該当し、必要書類が添付されていることを確認済
<input checked="" type="checkbox"/>	□ A □ B □ C □ D <input checked="" type="checkbox"/> E □ F □ G

電話番号(担当者名)	学校番号	区分
03 - 6743 - 〇〇〇〇	9 9 9 9 9 9	0 1
( 支援 三郎 )		

上記記載のとおり相違ないことを証明します。

(学校の証明) 20 24 年 4 月 22 日

学校名 日本学生支援機構大学

関係課長(※) 支援 次郎

※証明者は課長相当職以上の方がしてください。

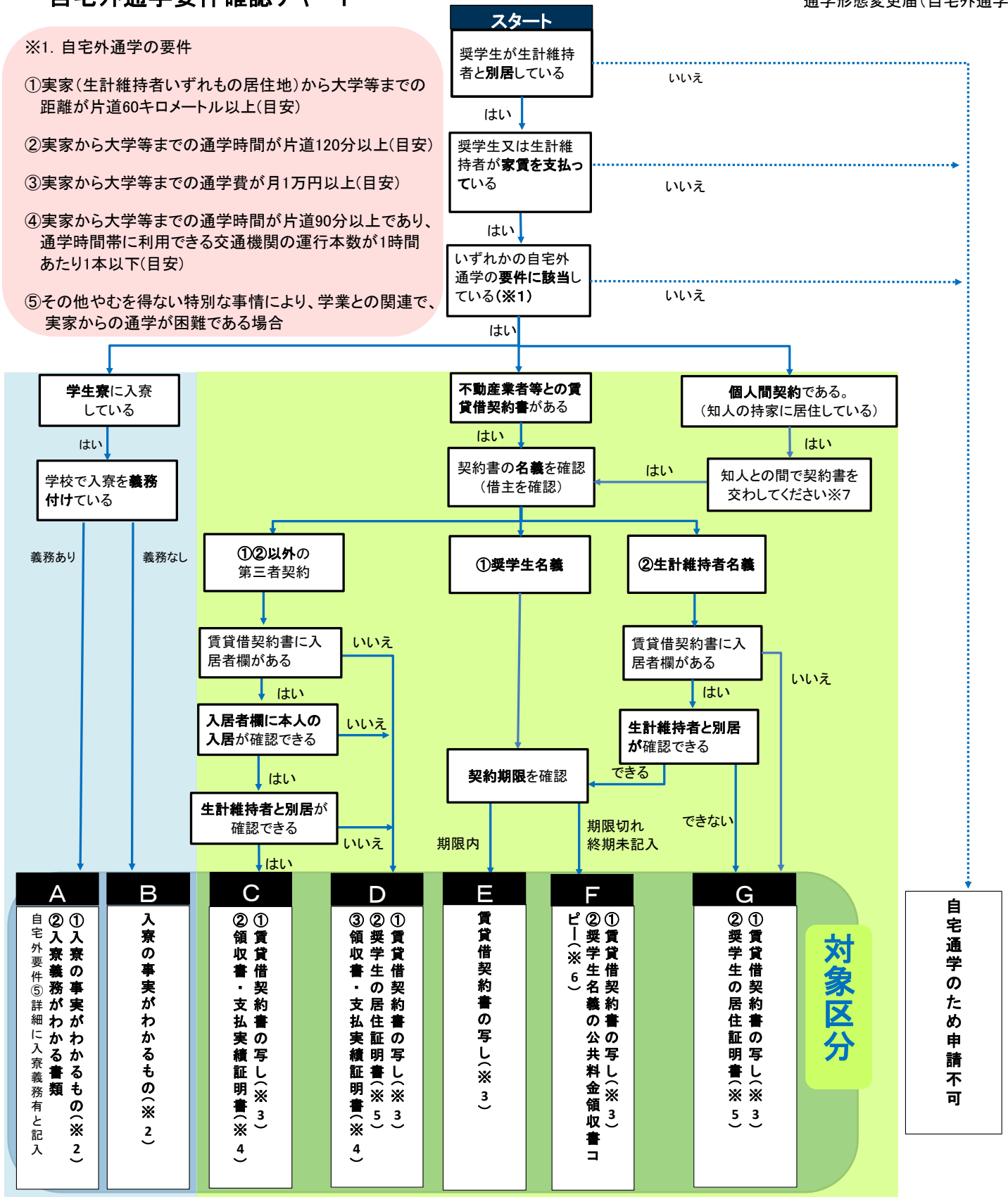
ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、機構の奨学金支給業務、奨学金貸与業務(返還業務を含む)及び在籍する学校での授業料等減免業務のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報(奨学金の返還状況に関する情報を含む)が、学校、金融機関、文部科学省及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。機関保証加入者については、機構が保有する個人情報のうち保証管理に必要な情報が保証機関に提供されます。また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複支給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。

# 自宅外通学要件確認チャート

通学形態変更届(自宅外通学)

## ※1. 自宅外通学の要件

- ①実家(生計維持者いずれかの居住地)から大学等までの距離が片道60キロメートル以上(目安)
- ②実家から大学等までの通学時間が片道120分以上(目安)
- ③実家から大学等までの通学費が月1万円以上(目安)
- ④実家から大学等までの通学時間が片道90分以上であり、通学時間帯に利用できる交通機関の運行本数が1時間あたり1本以下(目安)
- ⑤その他やむを得ない特別な事情により、学業との関連で、実家からの通学が困難である場合



●各証明書類を調えるにあたっては裏面をご参照ください。

## 自宅外通学要件確認チャート(裏面)

※2	入寮の事実の証明	<p>在寮(入寮)証明書、入寮許可証など以下の4項目が記載されているもの          [①奨学生氏名、②寮の所在地、③入寮日(または入寮期間)、④寮費(部屋代)の発生的事实]  <b>支給始期年月より前から入寮している場合、支給始期年月以降の日付で学校が証明している必要があります。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寮費や入寮義務の証明は学校のパンフレットや寮の規則のコピーの添付でも可能              在寮証明書等に学校の担当部署による追記および学校の印を押印した証明でも可能              パンフレットや寮の規則は必ず学校名が確認できるものであること</li> <li>・寮費(部屋代)が発生しない場合は自宅通学扱いとなる。(水道光熱費、食費、医療費、共益費は寮費(部屋代)とみなさない)</li> <li>■機構で書式を準備しておりますのでご利用ください「入寮(入所)証明書」              「入寮(入所)証明書」は自立援助ホームの入所証明としても利用できます。</li> </ul>
※3	賃貸借契約書	<p>以下の5項目が確認できる箇所をコピーしたもの          [①契約期間、②借主および貸主、③入居者、④家賃、⑤物件の所在地]  <b>重要事項説明書や保証委託契約書のみの提出は不備になります。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・労務契約で給料から家賃が差し引かれている場合は、賃貸借契約書に代えて労務契約書のコピーの提出でも可。</li> <li>・賃貸物件ではない他者の持家に入居している場合は個人間契約に該当(※7参照)</li> </ul>
※4	領収書 又は 支払実績証明書	<p>奨学生又は生計維持者が自宅外通学を開始した年月に家賃を負担していることを証明する書類          以下の①～⑦の項目が記載されているもの          [①宛名、②対象となる物件名(又は所在地)、③家賃を領収した旨、④金額、⑤何月分の家賃の領収書か(自宅外通学を開始した月の分であること)、⑥不動産業者(又は家主)の証明と押印、⑦発行日]</p> <p>※不動産業者発行の場合は賃貸借契約書に記載された不動産業者が発行したもの(不動産業者が変更になった場合は、変更したことが分かる書類(例:管理会社変更の通知等)の添付も必要)</p>
※5	居住証明書	<p>不動産業者又は家主が発行する、奨学生が生計維持者と別に居住していることを証明するための書類          以下の①～⑥の項目が記載されているもの          [①所在地、②貸主及び借主、③入居者、④契約期間、⑤賃料、⑥本人と生計維持者が別居している旨の記載]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・居住証明書の提出が困難な場合は、入居申込書や火災保険等の保険契約申込書のコピーで代えることが可能。(※入居者欄に生計維持者の記載のないもの、被保険者が奨学生1名と確認できるもの)</li> <li>・賃貸借契約書に記載のない不動産業者が発行した場合は、別途不動産業者が変更になったことがわかる書類(例:管理会社変更の通知等)の添付も必要</li> <li>■機構で書式を準備しておりますのでご利用ください「賃貸借契約証明書(個人間)兼居住証明書」</li> </ul>
※6	契約期間外の証明	<p>契約書の契約期間が切れている場合は以下のいずれかの追加書類が必要(自動更新欄の提示は不可)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該物件について奨学生名義の公共料金の領収書コピー(契約期間を更新した以降の月のもの)  <b>※請求書は不可です</b></li> <li>・家賃の領収書又は支払実績証明書(※4)(不動産業者又は家主発行、奨学生宛)</li> <li>・奨学生の居住証明書(※5)(コピー可、不動産業者又は家主発行のもの)</li> <li>・更新した賃貸借契約書の写し(※3)</li> </ul>
※7	個人間の賃貸借契約	<p>親戚の持家に住んでいる等、賃貸借契約書が発行されない場合に自宅外通学の証明となるもの          奨学生又は生計維持者と家主間の賃貸借契約書に代わる取決めがわかるものの提出が必要          以下の①～⑧の項目が記載されているもの          [①家賃を支払っている物件の住所、②奨学生氏名、③入居日、④契約期間、⑤月額家賃、⑥家主の署名、⑦本人の署名、⑧契約日]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提出できない場合は自宅外通学であることを証明することができないため自宅通学とする</li> <li>■機構で書式を準備しておりますのでご利用ください。「賃貸借契約証明書(個人間)兼居住証明書」</li> </ul>

自宅外通学を開始した年月とは、自宅外へ入居しかつ自宅外要件を満たした月のことです。

(例)2024/4/1に親元を離れた住居へ入居したが、家賃は2024/6/1から発生する。⇒自宅外要件を満たす月は2024/6となる。

(例)同居していた親が、2024/10/3に自宅外要件を満たす遠方に転居した。⇒自宅外要件を満たす月は2024/10となる。

(例)2024/4から自宅外通学だが、給付の始期が2024/10である。⇒自宅外要件を満たす月は2024/4だが、2024/10に自宅外通学をしている証明が必要。

日本学生支援機構提出用

※ご記入いただいた情報は給付奨学金の自宅外通学の審査のために使用します。

オレンジ色の欄については、入力による作成も可能です。

個人間契約書  
として使用する場合  
(持家へ間借する場合)賃貸借契約証明書（個人間）  
兼居住証明書

① 所在地： 東京都目黒区駒場4-5-29

① 物件名： 駒場マンション3階301号

② 契約者： 育英 花子

※ 賃貸借契約書上の借主（持家へ間借をしている等、賃貸借契約書が発行されない場合は家主と契約を行った人物）を記載して下さい。

③ 入居者： 育英 友

④ 契約期間： 始期：西暦 2024 年 4 月 1 日  
終期：西暦 2026 年 3 月 31 日

⑤ 賃料： 30,000 円/月

特記事項：

※ 生計維持者と奨学生本人の別居を証明するために作成する場合  
①いつから、②奨学生本人が生計維持者とは別居であるのかの2点がわかるように特記事項に記載してください。上記の契約者が私（貸主）と賃貸借契約を締結していること、および  
当該物件に入居者が入居していることを証明します。

西暦 2024 年 4 月 5 日

⑥ 持家へ間借をしているため、賃貸借契約書  
が発行されない場合は家主が証明欄を記入し  
てください。

⑥ 貸主： 奨学 太郎

印

※ 賃貸借契約書上の貸主（持家へ間借をしている等、賃貸借契約書が発行されない場合は家主）が証明して下さい。

住所： 東京都江東区青海2-2-1

連絡先電話番号： 03-2222-2222

オレンジ色の欄については、入力による作成が可能です。

日本学生支援機構提出用

## 支払実績

下記のとおり、賃借人等から賃貸人等に対し、賃料等の  
 なお、本証明書は給付奨学生が「自宅外通学」における  
 よる奨学生の居住にかかる家賃支払いを証明すること

### 【記入上の注意】

- ① 賃貸借契約書記載の所在地・物件名を記入してください。
- ② 賃貸借契約書記載の物件に実際に入居している方の氏名を記入してください。
- ③ 支払いが行われた年月日が何月分の家賃であるか記入してください。
- ④ 支払った家賃の金額を記入してください。
- ⑤ 支払った共益費・管理費の金額を記入してください。

物件所在地 (物件名)	東京都目黒区駒場4-5-29 駒場マンション3階301							
入居者	育英 友							
家賃支払いが行われた月及び賃料等	支払いが行われた年月日※	西暦	2024	年	4	月	2	日
			(	2024	年	4	月分)	
	家賃等	35,000	円/月 (税込)	共益費 管理費	3,000	円/月 (税込)		

※ 本用紙のみでは、契約内容の記載がないため自宅外証明書類とはなりません。賃貸借契約書等の写しと併せてご利用ください。

※ 本人又は生計維持者が本人居住にかかる家賃を支払っている証明書として使用する(対象区分CもしくはDで申請する)場合:

自宅外通学となった年月日を記入してください。

※ 現在も居住していることを証明するために使用する(対象区分Fで申請する)場合:

給付様式35右上の「提出日」時点で支払が行われた直近の年月日を記入してください。

### ⑥【賃貸人等(家賃を受け取った人) 自署又は記名・押印 欄】

西暦 2024 年 4 月 5 日

住 所: 東京都 江東区 青海 2-2-1

会社名又は名称:

代表者職・氏名: 奨学 一郎

電 話 番 号: 03-2222-2222

⑥【賃貸人等(家賃を受け取った人)】として自署・押印するのは以下の者です。

・**貸主又は不動産業者**: 本人または生計維持者が貸主又は不動産業者に直接家賃を支払っている場合。

・**賃貸借契約書上の借主**: 本人又は生計維持者以外の第三者が借主であり、借主に対して家賃を支払っている場合。

### ⑦【賃借人等(家賃を支払った人) 自署 欄】

※本人又は生計維持者

西暦 2024 年 4 月 5 日

住 所: 東京都目黒区駒場4-5-29 駒場マンション3階301

氏 名: 育英 友

電 話 番 号: 090-3333-3333

⑦【賃借人等(家賃を支払った人)】として自署するのは奨学生本人又は生計維持者です。

日本学生支援機構提出用

※ご記入いただいた情報は給付奨学金の自宅外通学の審査のために使用します。

オレンジ色の欄については、入力による作成も可能です。

居住証明書  
として使用する場合  
(賃貸借契約書の添付資料と  
して提出する場合)賃貸借契約証明書 (個人間)  
兼居住証明書

① 所在地: 東京都目黒区駒場4-5-29

① 物件名: 駒場マンション3階301号

② 契約者: 育英 太郎

※ 賃貸借契約書上の借主 (持家へ間借をしている等、賃貸借契約書が発行されない場合は家主と契約を行った人物) を記載して下さい。

③ 入居者: 育英 友

④ 契約期間: 始期: 西暦 2024 年 4 月 1 日  
終期: 西暦 2026 年 3 月 31 日

⑤ 賃料: 30,000 円/月

⑥ 特記事項: 2024年4月1日より入居者は育英友1名である

⑥ その他記入例  
・契約期間始期より上記入居者のみが居住している。※ 生計維持者と奨学生本人の別居を証明するために作成する場合  
①いつから、②奨学生本人が生計維持者とは別居であるのかの2点がわかるように特記事項に記載して下さい。上記の契約者が私 (貸主) と賃貸借契約を締結していること、および  
当該物件に入居者が入居していることを証明します。

西暦 2024 年 4 月 5 日

⑦ 賃貸借契約書に記載されている貸主、管理会社又は仲  
介業者が証明して下さい。⑦ 貸主: 株式会社 支援機構不動産  
代表取締役 奨学 一郎

印

※ 賃貸借契約書上の貸主 (持家へ間借をしている等、賃貸借契約書が発行されない場合は家主) が証明して下さい。

住所: 東京都江東区青海2-2-1

連絡先電話番号: 03-2222-2222

日本学生支援機構提出用

※ご記入いただいた情報は給付奨学金の自宅外通学の審査のために使用します。

オレンジ色の欄については、入力による作成も可能です。

## 入寮（入所）証明書

- ① 入寮（入所）している方の氏名を記入してください。
- ② 寮（施設）の所在地を記入してください。
- ③ 寮（施設名）及び部屋番号を記入してください。  
※上記②、③は給付様式35の「自宅外住所」と同じであることを確認してください。
- ④ 部屋代込みの寮費を記入してください。
- ⑤ 入寮（入所）日を記入してください。給付様式35の「自宅外への入居日」と同じであることを確認してください。
- ⑥ 寮費発生年月を記入してください。  
※支払年月・口座振替年月ではありません。

① 入寮（入所）者氏名： 育英 友

② 寮（施設）所在地： 東京都目黒区駒場4-5-29

③ 寮（施設）名及び号室： 機構大学学生寮301号

④ 寮費、費用等（部屋代含む） ※1： 50,000 円／月（税込）

⑤ 入寮（入所）日： 西暦 2024 年 4 月 10 日 ⑥ 寮費等発生月： 西暦 2024 年 4 月 ※2

特記事項：

※ 入寮義務がある場合、その旨特記事項欄に記載して下さい。

上記記載のとおり相違ないことを証明します。

<証明者> ※3

西暦 2023 年 4 月 10 日

※ 給付始期以降（採用後に入寮（入所）した場合は、入寮（入所）日以降）の日付をご記入ください。

住 所： 東京都新宿区市谷本村町10-7

⑦ 学校名・機関名： 日本学生支援機構大学

※ 留学先の寮に入る場合は、右記「（交換）留学先」のチェックボックスにチェックして下さい。 （交換）留学先

担当部署名・担当者名： 学生センター

電 話 番 号： 03 - 1111 - 1111

### 【使用上の注意点】

- ※1寮費、費用等に部屋代が含まれていない場合は、自宅外通学は認められません。
- ※2自宅外月額額は寮費等発生月以降となります。入寮（入所）月ではありません。
- ※3入寮の義務がある場合は別途入寮の義務があることを証明できる書類の提出が必要です。
- ※4本入寮（入所）証明書につきましては、以下の通り記載及び証明をお願いします。
  - ・学校（留学先含む）の寮に入寮している場合：学校の担当部署
  - ・学校の部活動等が運営をしている寮の場合：当該部等の代表者（又は担当者）
  - ・NPO法人等による学生寮の場合：運営団体又は管理会社の代表者（又は担当者）
  - ・自立援助ホーム等に入所している場合：当該ホームを管理・運営している機関の代表者（又は担当者）